

2 研究の実際

イ 小学校自閉症・情緒障害特別支援学級(3年)の取組

自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する小学校3年生の児童に対して、自閉症・情緒障害特別支援学級担任が、読み書きの困難さ等に応じた合理的配慮を提供した事例である。

対象児童は、国語や算数は特別支援学級で学習しているが、それ以外の教科等は交流学級で学習している。対象児童は、決められた課題をやり遂げなければならないという意識が強く、分かるようになりたいという気持ちも持っている。しかし、漢字がなかなか覚えられない、文章をすらすら読むことが難しい、文章の内容を読み取ることが難しい等の困難さがある。また、緊張が高まると情緒が不安定になり集中できなくなることがある。そこで、安心して学校生活を送ることができるように、授業でICT機器を活用したり、活動の流れを示したスケジュール表を用いたりするなどの配慮をした。

P(調整・決定)シート

1 意思の表明

本人	・ 静かな環境の中で学習したい。テストで100点を取りたい。
保護者	・ 安心して、楽しく学校生活を送ってほしい。
引継ぎ等	・ 漢字を覚えることや音読が苦手であり、1年生から特別支援学級に在籍している。 ・ 教師からの全体に対する説明は、注意を向けて聞くことができないことがあったが、自分の関心のある話題は、注意を向けて正確に聞くことができた。 ・ 交流学級での学習に行きしぶることがあった。

2 調整

実態把握

学習面	・ 音読が苦手で、特に初めての文章は、逐次読みになる。 ・ 算数は、学年相当の学習内容を理解することができている。 ・ 図形を模写することは得意である。 ・ 自信が持てないときや分からないときに情緒が不安定になる様子が見られる。 ・ 物音や声が聞こえると、集中して取り組むことが難しくなる。
生活面	・ 決められたことは守ろうとする気持ちが強い。 ・ 見通しが持てると、次の活動に取り掛かることができる。 ・ 周囲の様子や物音等を気にして、活動に取り組むことが難しくなることがある。 ・ 忘れ物をすることがある。
人との 関わり	・ 交流学級の友達から誘われると仲よく遊んでいる。 ・ 友達と遊びたいときに、自分から声を掛けることができないことが多い。 ・ 友達に仲間に入れてもらえなかったと自分で思い込み、悩むことがある。 ・ 学校や学級のルールを守らなければならないという気持ちが強く、守っていない人に対して大きな声で注意をすることがある。

その他 (生育歴・ 検査等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症の診断を受けている。 ・読み書きスクリーニング検査では、読みに対する困難さが見られた。 ・WISC-IVでは、境界の域である。
----------------------	--

検 討

【時 期】 4月下旬

【参加者】 特別支援学級担任、昨年度の特別支援学級担任

【内 容】 個別の教育支援計画及び個別の指導計画や4月の対象児童の様子等を基に、対象児童や保護者の願いに寄り添いながら合理的配慮について検討した。

対象児童は、学習意欲があるものの、漢字を覚えることや音読の苦手さ、興味・関心のあることに気が取られたり、物音や声が気になり集中することが難しかったりする様子が見られる。そこで、以下のような支援が必要だと考えた。

- ①活動の流れを示したスケジュール表を用意する。
- ②注意を喚起してから、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。
- ③ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。
- ④交流学級での学習について内容等を説明したり、参加について決定したりする時間を事前に設ける。
- ⑤学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。

【資 料】 個別の教育支援計画、個別の指導計画、WISC-IV、読み書きスクリーニング検査結果

合意形成

【時 期】 5月中旬 家庭訪問

【参加者】 保護者、特別支援学級担任、交流学級担任

【内 容】 検討した①～⑤の合理的配慮の内容を保護者に提案した。上記の合理的配慮の内容について1学期末に評価し、夏季休業中に見直しをする。

3 決 定

長期目標

- ・活動の流れを示したスケジュール表を基に、活動に取り組むことができる。
- ・ICT機器を活用し、自信を持って活動に取り組むことができる。
- ・困ったときは、周りに支援を求めることができる。

<p>①教育内容・教育方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。 ・注意を喚起し、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。 ・ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。 ・交流学級での活動等への参加について内容等を説明したり、参加について決定したりする時間を事前に設ける。 ・学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。 	<p>②支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科や行事等に関わる職員に、配慮することを伝える。 	<p>③施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で学習するスペースには、集中しやすいように仕切りを設ける。
--	---	---

※決定した内容は、個別の教育支援計画及び個別の指導計画、合理的配慮シートに明記します。

*** <合理的配慮：3観点11項目> * 該当する項目に○を付けて下さい。**

<p>①-1 教育内容</p> <ul style="list-style-type: none"> () 学習上又は生活上の困難を改善・克服 () 学習内容の変更・調整 	<p>② 支援体制</p> <ul style="list-style-type: none"> () 専門性のある指導体制の整備 () 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解・啓発 () 災害時等の支援体制の整備
<p>①-2 教育方法</p> <ul style="list-style-type: none"> () 情報・コミュニケーション及び教材の配慮 () 学習機会や体験の確保 () 心理面・健康面の配慮 	<p>③ 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> () 校内環境のバリアフリー化 () 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備 () 災害時等への対応に必要な施設・設備

次回の検討予定日(12月)

D(提供)-1シート

長期目標

- ・活動の流れを示したスケジュール表を基に、活動に取り組むことができる。
- ・ICT機器を活用し、自信を持って活動に取り組むことができる。
- ・困ったときは、周りに支援を求めることができる。

決定した合理的配慮

- ・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。
- ・注意を喚起し、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。
- ・ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。
- ・交流学級での活動等への参加について内容等を説明したり、参加について決定したりする時間を事前に設ける。
- ・学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。
- ・他教科や行事等に関わる職員に、配慮する内容を伝える。
- ・個人で学習するスペースには、集中しやすいように仕切りを設ける。

実際の指導場面における合理的配慮の提供について

①教育内容・方法

場面	対象児童の目標	内容 ()は主な支援者
学習面	・読む活動に親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・注意を喚起し、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。 (特別支援学級担任、交流学級担任) ・ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。 (特別支援学級担任、交流学級担任) ・教科書の音読は、電子黒板等で読み上げを聞いてから読むようにする。 (特別支援学級担任) ・学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。 (特別支援学級担任)
	・見通しを持って学習に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。 (特別支援学級担任)
生活面	・一日の学校生活に見通しを持って取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の活動の流れを示したスケジュール表を用意する。 (特別支援学級担任)
	・困ったときの支援の求め方を知り、担任に伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の求め方のヒントを書いたカードを用意する。 (特別支援学級担任) ・伝えることができたときは褒める。 (特別支援学級担任)

場面	対象生徒の目標	内容	()は主な支援者
行事等	・学年の友達と一緒に行事等に参加する。	・行事の内容等を説明したり、参加の仕方について決定したりする時間を事前に設ける。	(特別支援学級担任)

②支援体制

項目	時期	内容
職員会議	4月下旬	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に、対象児童について全職員で共通理解を図る。 ・他教科や行事等に関わる職員に、配慮する内容を伝える。
職員研修	夏季休業中	<ul style="list-style-type: none"> ・合理的配慮や基礎的環境整備、インクルーシブ教育についての具体的な内容について理解する研修を行う。

③施設設備

項目	時期	内容
個別学習の場の整備	4月初旬	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で学習するスペースには、集中しやすいように仕切りを設置する。

D(提供)-2シート

合理的配慮の実際

1 合理的配慮の提供場面

国語科「盲導犬について知り 『盲導犬のひみつ リーフレット』を作ろう」
 教材文 —「もうどう犬の訓練」(東京書籍 3年下) —

2 本時の目標

- 「人を安全にみちびく訓練」の段落について、内容を要約するために、必要な言葉を選んだり不要な文を削ったりして、要約文を書くことができる。

3 合理的配慮を取り入れた本時の授業について

教材文「もうどう犬の訓練」は、犬が盲導犬になるまでの訓練について書かれた説明文である。「人間の言うことにしたがう訓練」「人を安全にみちびく訓練」「もうどう犬にふさわしい心がまえ」「訓練の仕上げ」について順序よく説明されており、段落ごとに訓練の意味や具体例など、分かりやすくまとめられている。そのため、要約することを目標とした学習に適した教材文だと考える。児童はこれまで、盲導犬のひみつをまとめたリーフレットを作ることを目標に学習に取り組んでいる。本時では、「人を安全にみちびく訓練」の段落を要約することをねらいとしている。

本学級の国語の授業は、3年生3名で学習に取り組んでいる。3名とも同学年の教科書を用いて学習しており、授業中は自分の考えを進んで発表する様子が見られる。しかし、読むことや書くこと、集中を保つこと等、3名の児童が抱えている困難さは様々である。対象児童は、学習に真面目に取り組んでいる。しかし、読むことや書くことに対して困難さを抱えており、文章を読んで内容を理解したり、自分の考えを書いたりすることが苦手である。また、感覚の過敏さがあるため、集中して学習に取り組むことが難しくなることがある。

そこで、児童の苦手さや集中できる時間に配慮した学習内容や方法を授業に取り入れた。個人で学習する時間と3名で学習する時間を設定したり、自立活動の内容を踏まえた学習を短時間取り入れたりした。対象児童に対しては、読むことや書くことへの負担を軽減するために、プリント等の漢字に読み仮名を付けたり、ICT機器を活用したりした。

4 対象生徒へ提供する主な合理的配慮






提供する合理的配慮	()は主な支援者
・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。(特別支援学級担任)	
・学習への興味や関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。	(特別支援学級担任)
・読みやすいように、漢字には読み仮名を付けたプリントを用意する。(特別支援学級担任)	

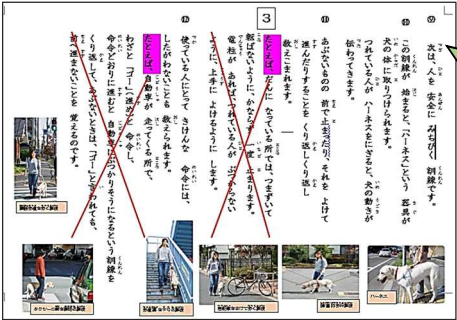
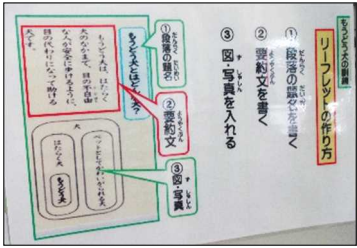
5 授業の実際

(◎合理的配慮)

担任の所感

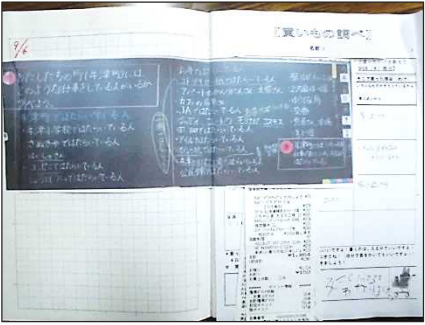
対象児童



学習活動	教師の働き掛け	取組の様子
<p>【授業前】</p>	<p>◎学習活動の見通しが持てるように、活動の流れを示したスケジュールを机の上に貼り、確認できるようにした。</p> <p>◎自分で学習を進めることができるように、個別学習で使用する教材をかごに入れて用意した。</p> <p>◎読みやすいように、プリントの漢字に読み仮名を付けた。</p> 	<p>個別学習で使用する教材をかごの中に入れておくことで、学習する内容と量が分かりやすく、活動に取り組みやすくなりました。</p> <p>スケジュールは、机の上に貼っておくと、すぐに確認することができ、見通しを持って活動できるようになりました。</p>
<p><個別学習></p> <p>1 今日の学習スケジュールの確認をする。</p> <p>2 聞く力を高める学習をする。</p> <p>3 言葉と漢字の学習をする。</p> <p>①言葉の意味調べ</p> <p>②漢字の練習</p> <p>③漢字の読みテスト</p> <p><集団学習></p> <p>4 前時までの学習を振り返る。</p>	<p>◎机の上に貼っている本時のスケジュールを見て、確認させた。</p> <p>・対象児童の注意をこちらに向けてから、学習を始めた。</p> <p>◎スケジュールの通りに活動できているかを確認した。</p> <p>・興味を持って学習することができるように、イラストを用いた教材を用意した。</p> <p>・漢字の構成や使い方について学習できるプリントを用意した。</p> <p>・読みテストは、体調等に応じて問題数を調節した。</p> <p>◎個別学習が終わったら、次の活動をスケジュール表で確認させた。</p> <p>・前時の学習内容を思い出させるために、学習した教材を電子</p>    	<p>個別学習では、自立活動に関する内容に毎時間取り組むようにしています。聞く力や漢字の読み書き等の向上が見られました。</p> <p>イラストがあるから漢字の意味が分かりやすいなあ。</p> <p>学習への集中が持続するように、活動によって場所を変えました。電子黒板を使った学習は、対象児童も画面をよく見て話を聞いていました。</p>


<p>5 本時のめあてを知る。</p>	<p>黒板に提示した。</p>	
<p>6 要約文を考える。 ①大事な言葉や文を○で囲む。 ②削る言葉や文に×を付ける。 ③○や×を付けた理由を発表する。</p>	<p>めあて 「人を安全にみちびく訓練」の文章を要約しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人を安全にみちびく訓練」の段落を要約し、リーフレットを作成することを確認した。 ・要約の合言葉を確認し、合言葉を掲示する。 <div data-bbox="491 562 1077 763" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>要約の合言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くりかえし出てくることばを見つけよう。 ・「たとえば」の後の文は、けずってよいときがある。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・形式段落ごとに個人で○や×を付けさせた。 ・○や×を付けた理由について、合言葉を基に発表させた。 	<div data-bbox="1054 472 1449 712" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>前時までに、児童が要約する際に考えたことを合言葉にしたため、「たとえば」等の合言葉に関する言葉が児童から出ていました。</p> </div> <div data-bbox="1107 779 1449 913" style="border: 1px solid yellow; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>「たとえば」の後だから、削っていいと思いました。</p> </div> <div data-bbox="1107 949 1449 1122" style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>合言葉のポイントを絞ったことで、大事な言葉や文を見付けることができました。</p> </div>
<p>7 要約文を作る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・○で囲んだ言葉や文を用いて特別支援学級担任と一緒に要約文を作った。 ・完成した要約文を全員で音読させた。 	
<p>8 本時の学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・合言葉を基に「人を安全にみちびく訓練」の段落の要約文を作ることができたことを称賛した。 	
<p>9 次の時間の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した要約文を基に、タブレットを使ってリーフレットを作成することを知らせた。 	<div data-bbox="1107 1778 1449 1883" style="border: 1px solid yellow; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>タブレットを使ってリーフレットを作成するんだな。楽しみだな。</p> </div>

D(提供)-3シート

合理的配慮の具体例

場面	学習面	ノートの記入の仕方
<p>合理的配慮の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことの負担を軽減するために、黒板の写真をノートに貼る。 		
 <p>【板書の写真を貼ったノート】</p>	<p>対象児童は、社会の授業を交流学級で受けている。交流学級担任の話を理解し、発表することはできるが、黒板の文字を写したり、自分の考えを書いたりすることが苦手である。そのため、書くことに時間が掛かり、学習内容を正確に理解できないことがあった。</p> <p>そこで、書くことの負担を軽減するために、授業後に、交流学級担任が黒板の写真を撮るようにした。そして、その日の自立活動の時間や帰りの会で授業の振り返りをしながら、黒板の写真をノートに貼るようにした。</p> <p>その結果、書くことの負担が減り、安心して授業を受けることができるようになった。</p>	

場面	行事等	運動会への参加の仕方
<p>合理的配慮の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会までの見通しが持てるように、練習計画表を用意する。 ・自信を持って参加することができるように、シールを用意する。 		
 <p>【運動会練習計画表】</p>  <p>【当日プログラム】</p>	<p>対象児童は、日記に「一位になりたい」と書いており、頑張ろうと張り切っている様子が見られた。しかし、いつもと違う活動の流れに不安を感じ、練習に参加することが難しい様子が見られた。</p> <p>そこで、運動会までの練習計画表を提示し、参加（見学可）したときはシール1枚、活動まで行うことができたときはシール2枚を貼るようにした。</p> <p>その結果、対象児童はシールが貯まっていくことに喜び、活動にも意欲的に参加するようになった。運動会当日も自信を持って全ての種目に参加し、目標の競技で一位になった。</p>	

場 面	行事等	運動会練習への参加の仕方
合理的配慮の内容 ・ 応援団練習時の音への配慮をする。		
 <p data-bbox="264 703 576 734">【雨の日の廊下での練習】</p>	<p data-bbox="663 365 1426 577">対象児童は、聴覚の過敏さがあり、静かな環境で活動することを好む。運動場での運動会の練習では、音楽や太鼓、マイク、ピストルの音を気にしながらも練習に参加することができた。しかし、室内での練習では、笛や太鼓の音が響くため、参加が難しくなった。</p> <p data-bbox="663 591 1410 667">そこで、学級用として準備していたイヤーマフを使用し、少し離れた所から見学することを対象児童に提案した。</p> <p data-bbox="663 680 1426 893">対象児童は、イヤーマフを使用すると、その効果をすぐに実感し、応援団の動きを真似したり、歌を口ずさんだりなど本人なりに参加することができた。また、運動会終了後も音が気になる際には、自分でイヤーマフを使用して、安心して活動に参加する姿が見られた。</p>	

C(見直し)シート

見直し

検 討

【時 期】11月

【参加者】特別支援学級担任、交流学級担任、特別支援教育支援員

【内 容】 特別支援学級と交流学級での学習の成果と課題について振り返り、今後の合理的配慮の内容について話し合った。

成果と課題

- 対象児童が安心して学習に取り組むことができるように、活動の流れを示したスケジュール表を用意した。対象児童は、学習内容に見通しを持ち、集中して学習に取り組むことができた。
- 対象児童の読み書きの負担を軽減するために、授業で使用するワークシート等の漢字に読み仮名を付けたり、I C T機器を活用したりした。対象児童は、I C T機器に興味を示し、意欲的に取り組むことができた。
- 休み時間や交流学級での活動では、友達に自分の思いを適切に伝えることができず、不安を感じている様子が見られることがあった。

合理的配慮の変更点

これまでの合理的配慮は今後も継続する。以下の点について今後取り組んでいきたい。

- ・友達との適切な人間関係を築くための学習の時間を設ける。

合意形成

【時 期】12月

【参加者】保護者、特別支援学級担任、交流学級担任

【内 容】 2学期までの活動の様子や合理的配慮の成果と課題について話し合った。その後、2学期以降に行う合理的配慮の内容について確認した。

**A(引継ぎ)シート****引継ぎ**

【時 期】 4月 職員会議後

【参加者】 (新・旧) 特別支援学級担任、交流学級担任、特別支援教育支援員

【方 法】 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に、下記の引継ぎ内容について話し合いをする予定である。全職員には、職員会議の中で対象児童についての説明を行い、共通理解を図る予定である。

【内 容】 定期的に見直してきた以下の合理的配慮を引継ぎ内容とした。

- ・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。
- ・注意を喚起し、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。
- ・ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。
- ・友達との適切な人間関係を築くための学習の時間を設ける。
- ・交流学級での活動等への参加について内容等を説明したり、参加について決定したりする時間を事前に設ける。
- ・学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、I C T機器を活用する。
- ・他教科や行事等に関わる職員に、配慮する内容を伝える。
- ・個人で学習するスペースには、集中しやすいように仕切りを設ける。

成果と課題

成 果

○ICT機器を活用した合理的配慮の提供

対象児童は読み書きに困難さを抱えており、学習全般に自信を持ってない様子が見られた。そこで、ワークシート等の漢字に読み仮名を付けたり、電子黒板の読み上げ機能を使ったりして読むことへの配慮を行った。また、国語科のリーフレットにまとめる活動では、学習用PCを用いて書く負担の軽減を図った。その結果、対象児童は、自ら活動に取り掛かったり、最後まで集中して学習したり等、意欲的な姿が見られるようになった。

○活動の流れを示したスケジュール表を用いて学習の見通しを持たせた合理的配慮の提供

特別支援学級では、グループ学習と個別学習の場を設けた。そこで、活動の流れを示したスケジュール表を用意した。その結果、対象児童は学習活動に見通しを持ち、最後まで落ち着いて学習に参加することができるようになった。

課 題

○読み書きの困難さへの配慮としてICT機器を活用した。ICT機器は、電子黒板や学習用PC、タブレットなど様々ある。学習形態や学習内容等に応じてどの機器をどのように活用すればよいのか探っていく必要がある。また、ICT機器の使い方のルールを明確にしておくことも大切と考える。

平成29年度 個別の教育支援計画

記入者名：〇〇 〇〇 記入日：平成29年5月〇日

〇〇小学校 〇〇学級（3年 〇組）		校長名	〇〇 〇〇	担任名	〇〇 〇〇
ふりがな 氏名 〇〇 〇〇 （男・女）		生年月日	平成〇年〇月〇日		
保護者名 〇〇 〇〇		家族構成	〇 〇 〇 〇		
住所：〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇		TEL（ 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 ）			
緊急連絡先（ - - ）					
現在の生活、将来の生活についての願い					
本人の願い		保護者の願い			
・友達と遊びたい。 ・静かに勉強したい。		・学校のルールを守って過ごしてほしい。 ・楽しく学校生活を送ってほしい。			
本人の状況（学習面、集団参加・社会性、対人関係・コミュニケーション、他）					
学校		・交流学級で友達と一緒に学習活動し、休み時間も一緒に遊ぶことができる。 ・場の雰囲気や相手の気持ちを汲み取りに発言することがある。 ・読み書きができないことで、自信を持っていないことがある。			
家庭		・朝はマイペースに行動したり、イライラして強い口調で言い返したりすることがある。 ・心配なことは、家族に伝えることができる。			
地域・関係機関		・放課後児童クラブ、放課後等デイサービスを利用している。 ・〇〇病院に定期的に通院している。			
支援の目標		・読み書きの困難さを補ったり、手伝いを求める方法を伝えたりして、自信を持って活動に参加できるようにする。			
主な支援内容				支援者	
学 校	学級	・ <u>プリント等の漢字に読み仮名を付ける。</u> ・ <u>本人の注意を喚起してから話す。</u>		特別支援学級担任 交流学級担任 特別支援教育支援員	
	校内	・ <u>本人の実態等について共通理解を図る。</u> ・行事等において、自己肯定感を高めるような声掛けをする。		全職員	
家庭		・情緒が安定せず、落ち着かない様子が見られるときも本人の困り感と捉えた対応をする。		保護者	
地域		・放課後児童クラブ、放課後等デイサービスでの様子を家庭や学校で共有する。		担当職員	
関係機関 医療、福祉、盲・ろう・養護学校 等		・状態を把握し、投薬する。		〇〇病院 主治医	
評価及び 引継ぎ事項					

【合理的配慮シート】

〇〇 小学校 3年 〇組 氏名 〇〇 〇〇

長期目標
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の流れを示したスケジュール表を基に、活動に取り組むことができる。 ・ICT機器を活用し、自信を持って活動に取り組むことができる。 ・困ったときは、周りに支援を求めることができる。

提供する合理的配慮	評価
・活動の流れを示したスケジュール表を用意する。	継続
・注意を喚起し、本人が分かりやすい言葉で指示を出す。	継続
・ワークシート等の漢字には読み仮名を付ける。	継続
・交流学級での活動等への参加について内容等を説明したり、参加について決定したりする時間を事前に設ける。	継続
・学習に対する興味・関心を高め、読み書きの負担を軽減するために、ICT機器を活用する。	継続
・他教科や行事等に関わる職員に、配慮する内容を伝える。	継続
・個人で学習するスペースには、集中しやすいように仕切りを設ける。	継続
・友達との適切な人間関係を築くための学習の時間を設ける。	追加

【提供する合理的配慮を決定した日】

H29 年 5 月 〇日 児童生徒名 〇〇 〇〇 保護者名 〇〇 〇〇

担任名 〇〇 〇〇 学校長名 〇〇 〇〇

次回検討予定日 H29 年 12 月 〇日